

# 会 議 録

## 1 会議名

平成29年度第3回板倉区地域協議会

## 2 協議(公開・非公開の別)

(1) 地域活動支援事業の審査について (公開)

(2) その他 (公開)

3 その他 (公開)

## 4 開催日時

平成29年5月31日(水) 午後6時00分～午後9時40分

## 5 開催場所

板倉コミュニティプラザ 201・202会議室

## 6 傍聴人の数

3人

## 7 非公開の理由

—

## 8 出席した者(傍聴人を除く)の氏名(敬称略)

・委員：平井口夫(会長)、新井清三(副会長)、小林良一(副会長)、福崎幸一、徳永妙子、古海誠一、北折佳司、長藤豊、西田節夫、島田信繁、上野きみえ、古川政繁、増村眞一、島田正美

・事務局：板倉区総合事務所 五十嵐所長、山崎次長、嘉鳥総務・地域振興グループ長、小山市民生活・福祉グループ兼教育・文化グループ長、宮尾産業グループ長、竹田建設グループ長、村山地域振興班長、岩崎主事、関主事(以下グループ長はG長と表記)

## 9 発言の内容

### 【山崎次長】

・地域協議会の開会を宣言

### 【平井口夫会長】

・挨拶

**【五十嵐所長】**

- ・挨拶

**【平井口夫会長】**

- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

前回の地域協議会で西田委員から旧寺野小学校に関する質問があったが、質問内容について正副会長で協議した結果、事務局から西田委員へ直接回答してもらうこととした。

今後は、協議会の場での質問に対し、委員全体で共有した方がよいと思われるものについては、正副会長で協議し、協議会の場で事務局から回答する。必要でないと判断した場合は、直接事務局から質問者に回答するものとする。

- 4 協議(1)「地域活動支援事業の審査について」を議題とし、事務局に説明を求める。

**【嘉島G長】**

審査に関する説明の前に、前回の地域協議会におけるヒアリングで、委員から確認が必要という意見のあった事項について、提案者から回答があったため、お知らせする。

まちづくり振興会が購入予定の大判プリンタがスクールモデルであるが購入可能か、という指摘について、まちづくり振興会が販売業者に確認したところ、購入については問題がないという回答があった。

以前購入したオーディオセットの貸出を行うのかという質問については、責任を持って対応していただけるのであれば、今後希望者に貸出するという回答があった。

板倉いきいき達者会が、講座の資料として雑誌「きょうの健康」のコピーを配布することについて著作権に触れる恐れはないかと担当課所見があったが、出版社に問い合わせたところ、資料の中に引用元を記した上で使用するのであれば問題ないとの回答があった。

(資料1、2により説明)

**【平井口夫会長】**

ただいまの説明について、質問・意見等がないので「地域活動支援事業の審査」に

入る。

事業番号2番と10番の事業については、審査から一人外れたので、過半数は7人、その他の事業については8人である。

委員の採点の結果、全ての事業について過半数の委員が採択すると回答した。また、共通審査項目の集計後の採点結果ですべての事業が7.5点以上となった。そのため、全ての事業を優先して採択する事業としてよいか。

(全員了承)

本日の審査の進め方についてお諮りする。資料2に記載の得点の高い事業から優先して今年度の配分額640万円の範囲で採択すべき事業を採択することとし、事業費の内訳を精査し適切な事業費を決めることとしてよいか。

(全員了承)

事業番号2番の審査の際は小林副会長、8番の審査の際には北折委員は退席願う。

1番「絆の森づくり事業(地すべり災害跡地復興事業)」について、意見のある方は挙手を求める。私が指名した後、発言願う。

**【北折佳司委員】**

現地で素晴らしい景観が見れたので、事業としてはよいと思う。

訪問者を増やす努力をするべきである。3年かけて行う事業ということであるが、期間を5年にして金額を減らすような計画にするべきである。

**【平井口夫会長】**

補助金額についてはどうか。

**【北折佳司委員】**

計画を見直してボリュームを下げた方がよい。

**【平井口夫会長】**

ただいま、5年の期間に見直すべきという話があったが、それについては次年度以降審議していただきたい。

**【西田節夫委員】**

この共有地には41人の所有者がいる。可能であれば地権者から金額を負担してもらうべきである。かぼちゃを植えている畑の部分についても地権者が6人いる。かぼちゃを植えてその収入を補填してはどうか。

毎年、地域活動支援事業で100万円補助するべきではない。半分の50万円でもいい。

**【古海誠一委員】**

地すべり跡の植林については平成27年度から我々が承認して進めている事業であり、当初から数年継続するという認識の下、承認しているので今年度も満額を認めたい。

**【上野きみえ委員】**

地域の復興のための事業である。満額でよい。

**【古川政繁委員】**

地域協議会14人が採択としたので、満額でよい。

**【長藤豊委員】**

地権者からお金を募るとなると、地権者との契約が変わってくると予想される。

畑については今回の植栽の範囲よりさらに下の部分である。耕作をすることにより余計に資金が掛る。

私も満額助成でよいと思う。

**【平井口夫会長】**

満額という意見が多数であるが満額の補助金としてよいか。

(賛成多数)

1番「絆の森づくり事業（地すべり災害跡地復興事業）」については助成金額を満額とする。

意見については事務局から提案者に伝えていただきたい。

**【嘉鳥G長】**

意見があったということで口頭での連絡でよいか。

**【平井口夫会長】**

口頭の連絡でよい。

続いて、2番「地域の活力向上事業」について意見のある方は挙手を求める。

小林副会長は退出願う。

(小林副会長退室)

**【西田節夫委員】**

ワイヤレスマイクが4本、チューナーが2つ、アンプが2つであるが、半分程度でよい。全部の機器を必要とする会議等はないと思う。金額は半分の12万9千円が減額になる。

【平井口夫会長】

機器の数量が半分でよいという意見が出たが、どうか。

【古海誠一委員】

アンプ、マイクの数量はふれあい祭りや敬老会で使用する時には申請のとおり数が必要である。

【西田節夫委員】

ふれあいまつりでは業者から借用しており、敬老会では中学校の設備を使っている。

【古海誠一委員】

ふれあいまつりでリースしているのは屋外の設備だけで、室内での催しに必要である。

【島田信繁委員】

振興会は多くの団体を支援しており、様々な行事で機器が必要な場面がある。満額の補助を願う。

【福崎幸一委員】

まちづくり振興会はワイヤレスマイクを何本所有しているのか。私は満額の補助でよいと思う。

【島田信繁委員】

正確な数は分からない。

【北折佳司委員】

大判プリンタは維持が大変である。これまでは、どのようにしていたのか。

【村山班長】

これまで、横断幕の作成等、総合事務所と関係する事業については総合事務所の大判プリンタを使用している。それ以外については使用していない。今回購入予定のものはカラープリンタ機能が付き、チラシをポスターにすることができるもので、地元からもニーズがある。他の団体が使用の際には料金を取ると聞いている。

【西田節夫良委員】

総合事務所の大判プリンタが利用可能であればそちらを使うべきである。使う場面も少ない。

**【古海誠一委員】**

公的な用途であれば総合事務所の大判プリンタが使えるが、地域の祭りで横断幕を作りたい場合には使用できないので不便を感じている。板倉区の総合的な活性化を考えればぜひ導入していただきたい。

**【平井口夫会長】**

満額か、ワイヤレスアンプについて半分の補助とするか、賛否を問う。

(満額の案に賛成多数)

それでは申請額に対して満額の補助とする。

(小林副会長入室)

次に、6番「県道上越飯山線改良促進に向けた光ヶ原高原の活用支援事業」について審議する。

**【古海誠一委員】**

今年度初めての事業なので、資金面で厳しい部分もあると思う。満額の補助でよいと思う。

**【西田節夫委員】**

補助金額については満額でよい。

なぜこの時期にイベントを行うのか。8月11日は祭日である。帰省客を見込んでいるならよいと思う。

**【平井口夫会長】**

補助金については満額としてよいか。

(賛成多数)

集客の日程については事務局から伝えていただきたい。

3番「みよしの里美化整備事業」について意見のある方は挙手を求める。

**【小林良一副会長】**

この事業の効果で集客力がアップしている。インターネット等で掲載するなどして、これを見に来るお客さんもいる。全額の補助としたい。

前回のヒアリングでも話題になったが、もう少し拡大し、景観をもっとよくしてい

ただきたい。

**【徳永妙子委員】**

満額でよい。引き続き頑張ってもらいたい。

**【平井口夫会長】**

満額の補助としてよいか。

(賛成多数)

事務局から引き続き事業を進めて欲しいと伝えるよう求める。

次に12番「針観音堂33年御開帳関連整備事業」について意見のある方は挙手を求める。

**【北折佳司委員】**

以前、針観音堂の周辺の環境がいまいちよくないので、資金を掛けるのであれば、板倉郷土館の敷地と組み合わせて何かしたらよいのでは、という話をした。

歴史遺産を継承していく事業は大切であるが、地域活動支援事業は新しく移住者を増やす等の活動を支援し、板倉の活性化をすべきである。補助は少し減額すべきだ。

**【平井口夫会長】**

46万円の申請額について若干減らしてよいという意見が出たが、その他の意見はどうか。

**【古海誠一委員】**

現地確認で観音堂の状態が相当悪いのを確認している。満額の補助を認めてよい。

希望としては33年に1度だけでなく、もう少し頻繁に公開してもらえないのか。

**【西田節夫委員】**

過去に町内会で同様の提案をしたが、まとめきれなかった。また町内会で協議したい。

**【平井口夫会長】**

満額の補助としてよいか。

(賛成多数)

それでは、満額の補助とする。

事務局に提案者へ意見を伝えるよう求める。

次に、11番「板倉区光ヶ原高原にぎわい創出事業」について意見のある方は挙手

を求める。

**【増村眞一委員】**

過去にお見合いなどを行ったが、場所の悪さなどの理由でうまくいかなかったと聞いた。光ヶ原でなく、市内のシティホテル等で行う等、場所について検討を求める。

また、このような事業は素人では難しい。民間の業者に協力してもらうのはどうか。

**【平井口夫会長】**

過去の上手くいかなかった経緯として、場所の問題、組織の問題があるという意見が出た。事務局は申請者に伝えるよう求める。

補助金額について意見を求める。

**【小林良一副会長】**

この事業の趣旨は少子高齢化が進んでいる中で、1名でも2名でも板倉に根付いてほしいという願いが骨子にある。場所については、板倉区の活動支援事業であるので、板倉区内で何かできないかという発想で動いている。

2回失敗しているということであるが、一概に今回も失敗するとは言えない。

**【西田節夫委員】**

婚活事業については板倉町時代に旧新井市と一緒にいった経緯がある。板倉町で1回、新井市で1回行ったが、1組もまとまらなかった。

申請書を見ると、前回のヒアリングが終わってからの結成である。やるからにはきちっと計画を立てて行うよう願う。

**【上野きみえ委員】**

若い方たちが将来のことを考えて出した案であるので大切にしたい。また、期待の持てる事業であるので、満額の補助としたい。

**【徳永妙子委員】**

ようやく板倉の団体が集まり活動しようとしている。計画や予算書から、細かく一生懸命に事業を行おうとしているのが伺える。満額を補助して成功してもらいたい。

**【福崎幸一委員】**

私も満額の補助でよいと思う。今回初めての事業であるが、産業建設部会で光ヶ原の活性化をどうするか議論しているので、本来私たちがすべきことである。満額の補助で後押ししたい。



**【平井口夫会長】**

満額の49万8千円の補助としてよいか。

(賛成多数)

次に、1番「吹奏楽部の活動を通して地域と触れ合う事業」について意見のある方は挙手を求める。

**【徳永妙子委員】**

304万円の事業費に対して100万円の補助申請であるが、仮に減額するとして、どの楽器を削るべきか我々では判断できない。子供達のことでもあるので、満額補助としたい。

**【古海誠一委員】**

地域協議会が小学校の在り方について検討しているが、中学生は5年後には150人程度になる。生徒が少ない状況で吹奏学部の部員を確保できるのか疑問である。

トランペットやチューバの数量を2台から1台に変えてもよいのではないか。

**【北折佳司委員】**

楽器の値段について今朝ヤフーオークションで検索したが、新品同様のものが半額程度で販売されていた。どうしても必要であれば、新品でなくてもよい。

子供なので新品でよいということではない。中古品でも子供には最高のものを与えなければならない。高い楽器を与えることも必要であるが、今の時代は少し使っただけのものがヤフーオークションで安く手に入るということを考慮し、もう少し減額しても良い。

**【平井口夫会長】**

100万円の申請額に対して、いくら減額すればよいか。

**【北折佳司委員】**

3割程度の減額が望ましい。本当に必要であれば、寄付を募るなどすればよい。

**【長藤豊委員】**

インターネットオークションで物を買うことは個人の趣味の範疇で行うもので、公的なものを購入するべきではない。

区内の寄付金を80万円見込んでいるが、もし寄付金が予定より集まらなかった場合、申請額に上乗せしてもよいと考える。

【平井口夫会長】

満額という意見と70万円という金額が出ているがどうか。

【西田節夫委員】

楽器は高いものであるが、部員が35人もいれば全員の手には渡らないのではない  
か。満額の補助でよいと思う。長藤委員の発言のとおり、補助金が余るようであれば、  
上乘せしてもよい。

【北折佳司委員】

様々なスポーツ活動や音楽活動で言えることだが、昔は子供が自分たちで働くなど  
してお金を工面し、クラブ活動等していた。中学生のうちからほしいと言えば税金で  
買ってもらえる状況はよくない。

【平井口夫会長】

100万円満額の補助と70万円の補助どちらかで採決を取ることとする。

満額の補助をとする方は挙手を求める。

(賛成多数)

それでは満額、100万円の補助金とする。

続いて、7番「箕冠城址公園美化・活性化事業」について意見のある方は挙手を求  
める。

【西田節夫委員】

桜の木の下にチューリップを植えても桜の根が張っているため、根付かない。ス  
イセンについても水気が多く、上手く発育しない。チューリップ、スイセンの球根  
分については減額すべきである。

そうすると、丁度申請額の半分となる。

【古海誠一委員】

チューリップとスイセンこだわっているが、これらは箕冠城址の魅力である中世の  
山城らしさと合わない。また、西田委員の発言のとおり、桜の木の下にチューリップ  
等を植えると桜の成長を阻害する。花の選定がミスマッチである。

チューリップではなくヒガンバナに変更してはどうか。

【西田節夫委員】

公園には池があるので、フジの植栽を提案する。

**【島田正美委員】**

チューリップを植えるのであれば、他の場所の方がよい。花の選定を含め、再検討するべきである。

**【島田信繁委員】**

ミスマッチという意見が出たが、植栽する花の選定については変更したい。少しでも箕冠城址公園にお客さんが来てくれるようにと思っている。一つよろしく願いしたい。

**【平井口夫会長】**

場所の問題、品種の問題と、山部連絡協議会としては人を寄せるため頑張っているという意見が出た。金額としてはどうか。

**【西田節夫委員】**

このまま採択したとして、植栽はどうなるのか。種類を変えれば金額が上がる場合もある。ここで採択してもよいのか。

**【平井口夫会長】**

西田委員から意見が出たが、どうか。

**【西田節夫委員】**

このまま満額の補助として、金額に余りが出ないように植物の種類を変更してはどうか。

**【平井口夫会長】**

23万2千円の申請額を満額認め、植栽や場所、種類等の再検討という意見が出たが、どうか。

**【古海誠一委員】**

見積りもない状況でそのような決め方はするべきではない。

**【島田正美委員】**

西田委員の意見に賛成である。

**【小林良一副会長】**

提案書に基づいて審議して決めるということが前提にある。金額ありきで決めるのは賛成しかねる。

**【古海誠一委員】**

来年再チャレンジしてもらってはどうか。

**【五十嵐所長】**

14人の委員が優先して採択すべきと判断していることを加味していただきたい。  
採択する、しないことを議論する場ではない。

**【平井口夫会長】**

審査の結果、皆さんから優先して採択すべきと判断している事項である。  
金額について議論願う。

**【北折佳司委員】**

9万6千円のポスター代のみ認めてはどうか。

**【嘉島G長】**

板倉区における補助金額の下限は10万円であることを加味していただきたい。

**【西田節委員】**

原材料分の減額をすると丁度半分になる。11万8千円の補助ではどうか。来年度  
違う花で提案していただければよいと思う。

**【長藤豊委員】**

花を植えるための事業であるので、原材料費を削ってしまえば、事業の意味がなく  
なってしまう。

**【島田信繁委員】**

チューリップとスイセンという選定が良くないということということで、場所を変えて  
植栽してはどうか。

**【福崎幸一委員】**

島田委員の発言のとおりでよいと思う。場所等を変更すればよい。

**【古海誠一委員】**

スイセンやチューリップは箕冠山に人が入らない時期に開花してしまう。植える場  
所もそうであるが、問題が多すぎる。

**【小林副会長】**

花の種類等は届出等で変更することは可能か。

**【嘉島G長】**

補助金申請時に提案書の変更申請をすれば可能である。

**【平井口夫会長】**

事務局から説明があったが、内容を変更して提出してもらおうということでどうか。採択については委員全員から意見が出ている。

今出た意見を事務局から山部地区連絡協議会に伝えてもらい、再提出という形としてはどうか。

(賛成多数)

**【嘉鳥G長】**

承知した。金額としては満額ということと、人が来るような時期に開花するような花の種類の設定ということでよいか。

**【平井口夫会長】**

そのようにしていただきたい。集客を目的としているため、今ほどの意見を提案者に伝えていただきたい。

次に、13番「板倉地域小学生バレーボール振興事業」について意見のある方は挙手を求める。

**【小林良一副会長】**

昨年度の地域活動支援事業で、ソックスやシャツ等個人で使用するものについては却下になった経緯がある。毎年審議の基準が変わってはならない。昨年と同様に審議すべきである。

今回はバレーボールであるが他の競技であっても、どのような考えで審議に取り組むのか、方針を出していかなければならない。

ユニフォーム以外の金額を補助するとなると10万円に満たなくなるが、それには、また審議が必要である。

**【西田節夫委員】**

ユニフォームは個人が着るものであるから、全額を出すわけにはいかない。ユニフォームについては半額、ただし、ユニフォームの名入れについては全額補助すべきである。

**【古海誠一委員】**

小林副会長の発言のとおり、昨年度と同じ方針で臨まなければならない。

**【嘉鳥G長】**

昨年度のグリーンファイターズの申請額に対する減額であるが、共通で使用する器具、備品については満額の補助を認め、ユニフォーム、シャツ、パンツ、ソックス、シャツマーキング代、鉢巻やチームジャージ等の消耗品は全て自主財源で購入すべきと考え、昨年は35万円の補助金額となった。

**【平井口夫会長】**

事務局から昨年度の補助金決定の方針が話があったが、本年もそのようにして補助金額を決定してよいか。

昨年同様に補助金額を決定したいが、板倉区の申請金額の下限10万円に満たなくなるが、これについて議論を求める。

**【徳永妙子委員】**

申請額から減額した結果であるので、実際の補助金額については、10万円を切ってもよいと思う。減額に関しての規定は採択方針に載っていない。

**【平井口夫会長】**

事務局の意見を求める。

**【五十嵐所長】**

徳永委員の発言のとおり、事業を募集する段階で要綱に明確な記載がないため皆さんで決めていただきたい。申請時点では10万円を超えている。審査の結果10万円を下回るといった場合は、皆さんの合意の上で決めていただきたい。

**【平井口夫会長】**

そのようにしてよいか。

(賛成多数)

それでは、10万円を切るが、9万2千円の補助金額と決定する。

次に5番「寺野地域観光案内看板の有効活用事業」について意見のある方は挙手を求める。

**【西田節夫委員】**

昨年度、86万円の補助申請に対して、道路の乗り入れ部分の舗装のみ認め40万8千円の補助とした。今年度は、71万7千円の申請額のうち、昨年度減額した分の45万2千円の補助としてはどうか。

固い地盤で、中は暗渠排水になっているということであるので、あれ以上は柔らか

くならない。水路がないため水が溜まりやすいので、水がはけるようにしなければならない。

【平井口夫会長】

補助金額は昨年の減額分の45万2千円という提案があったがどうか。

【西田節夫委員】

あそこに大型観光バスが入ることはないと思う。活用するのは近隣住民だけである。

【古海誠一委員】

昨年の事業のままで機能を果たしている。舗装については緊急的な課題ではないため、見送りでよい。

【平井口夫会長】

12人の委員が優先して採択すべき事業として採点しているため、採択を前提に議論願う。

【長藤豊委員】

採択方針に合っているかどうかの判断をした結果であり、過半数が丸を付けたから採択ではないと認識している。

【五十嵐所長】

基本的なルールとして、委員で審査をした中で採択方針に合っているかいないか判断し、採択が過半数を超えたものは優先して採択すべき事業であると定めている。

【北折佳司委員】

昨年も同じシステムであったのか。採択の結果、補助金無しとなった事業があると記憶している。

【古海誠一委員】

採択は方針に則っているかどうかで判断した。委員が採択すべきと判断していても、審査の結果、最後には予算がゼロになる事例もある。

【五十嵐所長】

事務局としては、採択方針に則って採択していただかないと、提案者に説明がつかない。

【古海誠一委員】

他の区での地域活動支援事業では、新聞等では10件申請中、審査の結果、7件採

択したというような報道がされている。採択方針に則っているか審議したのではないのか。

**【五十嵐所長】**

皆さんで決めた採択方針では、優先順位の高いものから順に審議していき、配分額が満額になれば採択しないというものである。今回の場合満額で採択していけば、最後の事業については採択されなくなる。このようなケースは十分に考えられる。ルールという共通の認識を先に皆さんで作し、ルールに従い皆さんで検討している。ルールが違うのであれば、ルールの変更をしなければならない。

**【西田節夫委員】**

過去に豊原小学校のPTAの申請を過半数が採択すべきとしたが、順位が低かったために配分額が無くなり、申請者から意見があったという事例があった。

その中で、採択方針に則って説明をしたという経緯がある。事務局の発言のとおり、順位の低い事業については、補助金なしということもある。このことを皆さんで認識していかないと、上手くいなくなる。

**【平井口夫会長】**

優先順位の高い順に補助金を配分していき、補助金合計が640万円に達した段階で採択としても配分なしということである。この問題については以上とする。

「寺野地域観光案内看板の有効活用事業」の補助金についてどうするか。前回は86万円のうち、45万2千円の減額という結果であった。今回も数字的には半額程度という意見が出ている。

今年度の申請額71万7千円から45万2千円とするため26万5千円を減額することかどうか。

**【長藤豊委員】**

年度が替われれば、当然見積もりも変わる。去年の額でやれというのはおかしい話である。昨年と違うのはワイヤメッシュが入っていることである。ここまでやる必要があるのかという意味でワイヤメッシュ分減額してはどうか。

**【徳永妙子委員】**

26万5千円という数字が、よく分からない。昨年と同じ額を減額するということか。



**【平井口夫会長】**

昨年は86万円の申請額から45万2千円を減額し、40万8千円を補助金額とした。今年度は内容が違っても71万7千円というトータルの中で去年並の26万5千円で減額して45万2千円としてはどうかということである。

**【徳永妙子委員】**

承知した。

ただ単にそのように減額するのではなく、コンクリートを打つための原材料費については補助し、その他については減額ということではどうか。

**【平井口夫会長】**

具体的にはワイヤメッシュ、生コンなどの原材料費を認め、その他については地元でお願いしたいという提案で、金額は45万3千600円となる。その他、意見等はないか。

**【島田信繁委員】**

仕事で見積を取ることがあるが、積算の上位で見積りを取り、NETでこれ位かどうかという決め方をする。実際にこの程度の価格になるのか。

**【平井口夫会長】**

NETというのはどういうことか。

**【島田信繁委員】**

これ位なら安くなる、ということである。

**【竹田G長】**

見積単価で一番大きいものが生コン打設で1万9千円ということで一番のウエイトを占めているが、生コンクリート1m<sup>3</sup>当たりの単価も土木の単価からしても大きな違いはない。また、目地切や止型枠については大きい額でないのも、単価的にもこの程度である。ワイヤメッシュについては面積が185m<sup>2</sup>あるので大きく感じるかもしれないが、単価的には大きくない。経費の1万5千円も市の土木事業のものと比較しても安い。

**【平井口夫会長】**

専門家の見解では71万7千円という金額は相場程度であるということである。

**【長藤豊委員】**

去年、これだけ減額したので十分できるという話が基にあっての意見であるが、去年度減額した明細と今年度提出のあった明細で、どれ位の違いがあるのか教えていただきたい。

**【嘉鳥G長】**

昨年度は乗り入れ工事分について補助金を認められており、14万円かかっているが、生コン打設費が17m<sup>3</sup>で31万4千500円、今年度が18m<sup>3</sup>で34万2千円、1m<sup>3</sup>増えている関係で約2万8千円高くなっている。

今年度は刷毛引仕上166m<sup>2</sup>が2万4千900円、昨年度は154m<sup>2</sup>で1万5千400円となっている。

ユンボの使用料2万5千円、養生費8千円と雑工事費1万5千円が昨年度と同額となっている。

**【長藤豊委員】**

減額するとなると、ワイヤメッシュ位しかない。

**【平井口夫会長】**

ワイヤメッシュ代を減額し60万5千円、もしくは45万2千円という提案があるがいかがするか。発言願う。

**【小林良一委員】**

メッシュとユンボの使用料、ユンボの搬送料を上乗せという形でもよい。

**【平井口夫会長】**

ただいまの提案は、71万7千228円からメッシュ代を減額した59万6千700円とするというものであるが、どうか。

寺野地区連絡協議会の会長をされている、島田委員に意見を求める。

**【島田正美委員】**

連絡協議会としては満額欲しいのは山々であるが、昨年度の見積もりの中にワイヤメッシュが入っていないということで、この分の減額であればよいと思う。

**【平井口夫会長】**

連絡協議会の会長からその様な意見が出た。

**【徳永妙子委員】**

採択することは決まっている。金額の問題であり、ある程度案も出てきている。こ

ここで決を取り、先に進んではどうか。

【平井口夫会長】

では45万2千円という数字と、59万6千円という2案について決を取りたい。

(45万2千円の案に賛成多数)

年度によって金額の違いが出るのは当たり前であるが、1年前と同じ全額ということをお願いしたい。

【嘉鳥G長】

45万2千円という金額の根拠としては、昨年の残額について助成をするということではよいか。

【平井口夫会長】

島田委員、今の説明でよいか。

【島田正美委員】

今の回答でよい。

【平井口夫会長】

事務局、これまでに決定した補助金額の合計はいくらか。

【山崎次長】

559万3千円である。残りの補助金額は80万7千円である。

【平井口夫会長】

次に9番「高齢者健康寿命向上地域活動事業」について意見のある方は挙手を求める。

【西田節夫委員】

元気な人はよいが、足腰が悪い人には送迎が必要である。参加の方には送迎をしてほしい。

【平井口夫会長】

補助金については満額ということではよいか。

【西田節夫委員】

よい。

【北折佳司委員】

事業を行う日時、会場がバラバラなので、固定的な場所や曜日を決めるべきである。

やすらぎ荘を会場にし、送迎バスを活用してはどうか。

補助金額については満額でよい。

**【古海誠一委員】**

参加者は元気な高齢者である。元気な高齢者は元気のない高齢者を支えるのが本来である。そういった意味で、少し予算を付けすぎである。

**【平井口夫会長】**

具体的な金額はいくらか。

**【古海誠一委員】**

講師料の5千円50回は多すぎるので、半分でよい。

**【平井口夫会長】**

28万6千円の希望申請額から講師料の半額を引いた16万1千円という意見が出ているが、どうか。

**【北折佳司委員】**

古海委員の意見に賛成である。会の設定の50回は事業を行う人やサポートする人にとっても負担が大きい。50回を半分にしてよい。

**【平井口夫会長】**

補助金額は講師料を半額とした16万1千円としてよいか。

(賛成多数)

次に10番「市民参加による演劇公演事業」について審議を求める。

北折委員は退出願う。

(北折委員退室)

**【西田節夫委員】**

芝居の公演予定日が8月であるが、間に合うのか疑問である。

少子化問題対策を盛んにやっているのに、平成29年度でサポートセンターへの市の助成金が無くなるというのは理解できない。市はどのように考えているのか。

**【嘉島G長】**

自治・地域振興課が移住促進というテーマで、板倉区の寺野の自然と暮らそうサポートセンターと吉川区、大島区の団体が行う移住体験ツアーに関する事業を支援している。

平成29年度での補助事業の終了は、自治・地域振興課と寺野サポートセンターが協議して決めたことである。

**【平井口夫会長】**

補助金額についてはどうか。

**【西田節夫委員】**

東京からの交通費が15人で1万7千円、宿泊料が15人で4千円であるが、これについて全て支援するというのは違うと思う。

8月に講演するということであるが、地元の方はほぼ出られないなかで1か月弱の時間で講演が出来るとは思えないので、交通費と宿泊費は認められない。

参加料については4千円が地元の役者を含めて25名になっているが、間に合うのか疑問である。

**【小林良一副会長】**

この事業は初めての提案であり、地元の芸能に発展させるという意味合いで、新しいことにチャレンジすることなので、満額補助してもよい。また、2年継続し、以降は支援事業の申請はしないとはっきり言っている。

**【福崎幸一委員】**

集客の見込みが分からないので、年2回の公演を1回にしてはどうか。

**【平井口夫会長】**

福崎委員から、公演を1回にし、状況を見て判断という意見が出た。補助金額については講師旅費、参加費については半分となる。単純に60万円の事業費が30万円という考え方もある。

**【福崎幸一委員】**

原材料費は1回やっても2回やってもかかると思うので、この分を足してもよい。

**【西田節夫委員】**

私も同様の意見である。

**【平井口夫会長】**

公演回数を1回という中で金額を精査すべきという意見が出ているが、どうか。

**【長藤豊委員】**

1回の公演にするとしても、ワークショップ3回、演劇指導3回等は半分の回数に

ならない。半額ということにはならないのではないか。

**【村山班長】**

長藤委員の指摘のとおり謝金と旅費についてはワークショップの分であるので、公演の経費として載っているのは原材料費の分だけである。

**【福崎幸一委員】**

もう一度説明を求める。

**【村山班長】**

実施スケジュールに、8、9、10月に芝居ワークショップ開催予定とあり、ワークショップ、舞台づくり指導、演劇指導を8、9、10月に行うための旅費、講師謝金を予算措置してある。原材料費の6万4千円については、舞台を作るためのものであり、これが舞台にかかる経費である。また、公演を一回とすると公演参加費も減額となるので、調整が必要になる。

**【平井口夫会長】**

詳細な説明がないと精査できないため、北折委員から説明を求める。

(北折委員入室)

**【福崎幸一委員】**

年2回の公演を1回にすれば、旅費や講師謝金等が半分になるのではという意見が出ている。

**【北折佳司委員】**

東京で募集活動を始めている。2回の公演のうち、完全に市民が出演する上演作品は1本で、もう一つはプロが主体になる。

舞台に上がるためのワークショップを重視しており、ワークショップを通じて、地域に若い人などを呼んでいきたいと考えている。事業として2回の公演を1回にしては意味がない。補助金の有無に関わらず、実施予定である。

**【平井口夫会長】**

事業を開始して初年度であるが、最小限にできるか。削れる部分はないか。計画どおりでないの一つの形にならないということか。

**【北折佳司委員】**

60万円の予算を組んであるが、お金はあるだけでやっていくつもりである。東京

から来てもらった人に一緒に働いてもらい、地元と交流してもらうなどやりたいことは広がってきている。補助金額以上のことをやるつもりでいる。お金のためではなく、地域のためにやるつもりでいる。

**【福崎幸一委員】**

納得できた。評価の部分を見ると少し低いが頑張っているの、満額の42万円で決を採ってはどうか。

**【西田節夫委員】**

講師の旅費は2回の公演のためのものか。

**【北折佳司委員】**

交通費の積み上げは公演の前のワークショップに何度も来てもらうため、それを含んでいる。

**【西田節夫委員】**

金が無ければそれでよいと言われているが、では何のために提案しているのか。

**【北折佳司委員】**

この地域で事業を行うことに意味があると思う。人が来れば、交流が生まれ、移住のきっかけになると思う。

**【西田節夫委員】**

それは理解している。やるからにはきちっとしてほしい。補助金が無くてもよいですという話では何のために計画したのか疑問である。

**【北折佳司委員】**

地元で成り立たないのかと言われるとつらい。きっかけが中々ない中で、巡りあわせだと思っている。タイミングを外すと非常にもったいない。

**【平井口夫会長】**

この中で削除できる項目はないか。

**【北折佳司委員】**

宿泊代が高い気もする。

**【平井口夫会長】**

人数は削減できないのか。最低限か。

**【北折佳司委員】**

最低限である。

【平井口夫会長】

それだけ確認出来ればよい。

北折委員は退席願う。

(北折委員退室)

【西田節夫委員】

半分の21万円かどうか。

【平井口夫会長】

ただいま、具台的に半額の21万円という意見が出た。

【小林良一副会長】

私が最初に発言したように新しい取り組みでどうなっていくのか見守りたいので、満額の補助としてはどうか。来年度も申請するということであるので、その段階で、今回の成果を見ながら判断してはどうか。

【古海誠一委員】

皆さんよく理解できていない。全体像が見えない中で値切りばかりしても意味がない。期待を込めて満額の補助としてはどうか。

【平井口夫会長】

採決を取る。満額42万としたい委員は挙手願う。

(賛成多数)

それでは補助金額を42万円とする。

(北折委員入室)

次に、8番「栗沢桜の里づくり事業」について意見のある方は挙手を求める。

【山崎次長】

補助金額の残高は22万6千円である。

【平井口夫会長】

残高は22万6千円である。どうするか。

【西田節夫委員】

砂防事務所の許可を取ってあるのか。

【嘉鳥G長】



ヒアリングの際にも説明があったが、許可申請は不要との回答である。

【西田節夫委員】

格納庫に何を入れるのか不透明である。

桜は植えてから開花するまで何十年もかかる。あちこち植えても人が来ない。

【平井口夫会長】

パイプハウスや格納庫は必要ないのではないかという意見がでたが、補助額についてはどうか。

【徳永妙子委員】

最低限、長椅子と砂利敷きが必要である。そうすると丁度よい金額になる。

【古海誠一委員】

計画に長期展望が見えない。提案者が10年、15年後に管理しきれない。

今年度は砕石や重機借り上げ等、遊歩道の整備について補助すればよい。案内看板や長椅子等が必要になるのは10年も先の話である。

【西田節夫委員】

椅子の材質がアルミのため、長く持たない。

作業用のパイプハウス、砕石と重機借り上げ料だけ認めてはどうか。

【平井口夫会長】

パイプハウス、砕石、重機借り上げ料の合計はいくらか。

【山崎次長】

23万5千760円である。

【平井口夫会長】

1万円超過している。

【長藤豊委員】

昨年度も栗沢の事業が最後の精査になり、残りの補助金で事業が実施できるように提案者へ見積りの再提出を求めた。今年度もそのようにしてはどうか。

【平井口夫会長】

22万6千円という金額を提示し、その中で出来る事業について再度提出していただくという意見が出たがどうか。

(賛成多数)

補助金額を22万6千円とする。

委員の総意のもと、残金0円ということで補助金の配分が終了した。

次に、ただいま審査した結果を平成29年度地域活動支援事業の審査結果として市へ報告することとしてよいか。

(賛成多数)

審査結果については総合事務所長宛てに文書で報告することになっているが、作成と報告については私と副会長に一任していただくこととしてよいか。

(賛成多数)

(1)「地域活動支援事業の審査」は以上とする。次に(2)その他とする。

第1回地域協議会において小学校の複式学級の解消と有恒高校の問題について6月以降に勉強会を開催するとして、皆さんからご了承いただいた。本日で地域活動支援事業の審査が終了したことから、次回の地域協議会終了後勉強会を開催したい。事務局、次回諮問事項等がないか確認を求める。

【山崎次長】

次回、協議事項等の予定はない。

【平井口夫会長】

次回地域協議会終了後、勉強会を開催することとしてよいか。

(賛成多数)

その他、協議事項等ないか。

次に5「その他」とする。事務局から連絡事項等はないか。

【嘉島G長】

7月11日に開催されるキャッチボールトーク、まちづくり市民大学受講生募集について案内

【山崎次長】

第1回地域協議会の中で説明が途中であった平成29年度の板倉区の主な事業について、前回、西田委員から説明を求められていたが、本日説明が必要か。

【平井口夫会長】

予定時間を大幅に超過している。早急な問題ではないので、次回の説明とする。

【西田節夫委員】

始まる前に会長から話があったが、寺野小学校のグループホームについて、前回は説明してほしいと言っただけで、審議してほしいと言った覚えはない。

私だけでなく、皆さんに分かるように説明をいただきたい。板倉区だけの問題であるので、皆さんに説明をしてもらい、その中で審議するなら審議していかないと困る。私だけ行政から説明を受けても困る。区全体の問題であるので、皆さんに分かるような説明をしていただきたい。

**【平井口夫会長】**

今後については事前に私と副会長に相談していただきたい。今回についても、事務局から西田委員へ説明いただきたい。

以上で予定した議題を終了する。

- ・ 会議録の確認を長藤豊委員に依頼
- ・ 第4回の地域協議会は6月28日（水）18時～

**【山崎次長】**

- ・ 地域協議会の閉会を宣言

**【小林良一副会長】**

- ・ 挨拶

10 問合せ先

板倉区総合事務所総務・地域振興グループ TEL0255-78-2141（内線123）

E-mail : [itakura-ku@city.joetsu.lg.jp](mailto:itakura-ku@city.joetsu.lg.jp)

11 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。